

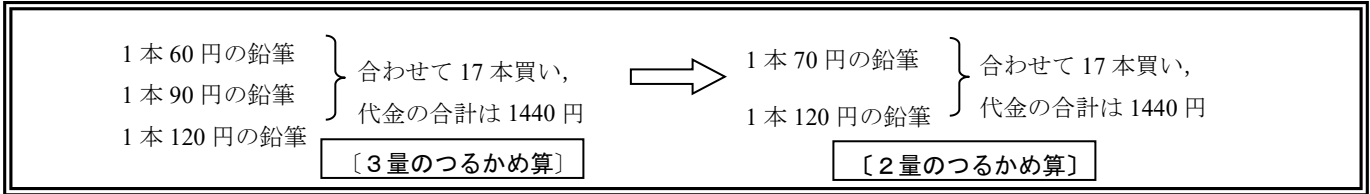
**例題3 (3量のつるかめ算1)**

ある店では、1本60円、90円、120円の3種類の鉛筆を売っています。太郎君は、この3種類の鉛筆を合わせて17本買ったところ、代金の合計は1440円でした。また、太郎君が買った60円と90円の鉛筆の本数の比は2:1でした。太郎君は鉛筆をそれぞれ何本買いましたか。

[解き方]

60円の鉛筆と90円の鉛筆の本数の比が2:1なので、このときの鉛筆1本あたりの平均の代金は、  
 $(60 \times 2 + 90 \times 1) \div (2 + 1) = 70$ (円)となります。

ここで、問題は下のように整理されます。



したがって、右の面積図より、

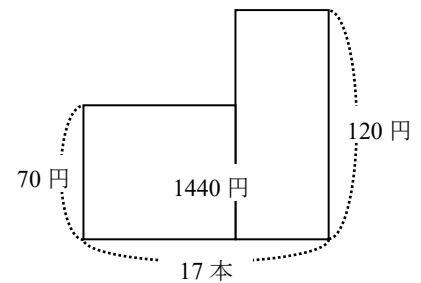
1本70円の鉛筆の本数(1本60円の鉛筆と1本90円の鉛筆の本数の和)は、

$$(120 \times 17 - 1440) \div (120 - 70) = 12 \text{ (本)}$$

$$12 \div (2 + 1) \times 2 = 8 \text{ (本)} \cdots 1 \text{ 本 } 60 \text{ 円の鉛筆}$$

$$12 - 8 = 4 \text{ (本)} \cdots 1 \text{ 本 } 90 \text{ 円の鉛筆}$$

$$17 - 12 = 5 \text{ (本)} \cdots 1 \text{ 本 } 120 \text{ 円の鉛筆}$$



答 60円の鉛筆…8本、90円の鉛筆…4本、120円の鉛筆…5本

【1】貯金箱の中には10円玉、50円玉、100円玉が合わせて36枚あり、金額の合計は1680円です。また、10円玉と50円玉の枚数の比は3:1です。10円玉、50円玉、100円玉はそれぞれ何枚ありますか。

【2】1個の重さが10gと50gと100gのおもりが合わせて24個あります。10gのおもりの個数は100gのおもりの2倍あり、これら24個の重さの合計は1080gです。このとき、50gのおもりは何個ありますか。